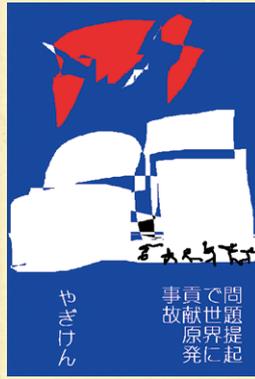


八木健の川柳アート

75

ものの方を変える
 ともでもない原発事故を起こして、日本は世界の「嫌われ者」と思いきや、日本の事故があったからこそ原発是非の論議を始めたのだとも思わないとやりきれない。

問題提起で世界に貢献原発事故



問題提起で世界に貢献原発事故
 やぎけん

今月の八木健

特選

選者・川柳アート
 八木健

(月刊川柳総合誌「川柳マガジン」元選者)



村田 節子 (八幡浜市)

CMが無くて目疲れNHK

民放はCMがあるから目が疲れない。なるほど。NHKもCM放送をという案は、民放の広告収入を奪うので潰された。村田さんはNHKを褒めてるんだらうね。目が疲れるほど見ているんだもの。NHKも目を休める時間をつくらうとい。

佳作



金子 亶 (東温市)

義捐金七割未送腐るかも

全国から寄せられた義捐金の七割が被災者に届いていない。その額はなんと二千億に近い。おそらくうやむやになるだらうね。国や自治体が復興に使うとして「ネコババ」するかも。



石原 康正 (松山市)

飲ませたい幕末志士の爪の垢

かつて幕末には国の未来を拓こうと多くの若者が命を賭した。今の国会議員のなかにそういう人はいないのか……と石原さんは嘆く。囲碁将棋の名人を閣僚に加えてはどうだらう。明日がわからぬ政府のために、三手先を読んでもらうとい。



松友 順三 (松山市)

台所妻は背中で返事する

食事の準備に忙しいんですから、振り返るなんてできません。おそらく、返事は短くつぶやく程度ですね。たとえば「自分で考えなさい」「勝手になさい」、あるいは……「うるさい」。



大西 知子 (松山市)

人並みが花粉症とは情けない

お隣は新車を買ったけど、我が家は二十年前の旧式で、息子は大学受験に失敗してどうするつもりなのか。なにごとくせめて人並みにと思いつつ生活しています。最近やっとなり人並みになったのは、ふふふ……花粉症です。



田辺 進水 (松山市)

美人対美人に走る静電気

どんな場合でも、美人は美人の横には並ばない。不美人は自分より不美人を選んでそのとなりに座る。だから集合写真撮るのは大変時間がかかる。美人対美人は静電気が走る。それをストロボがわりに使えないものか。

古今の名句



永田 延男

ピアニストどこが痒いかわからない

情感あふれる表現のためにからだ全体で弾くから、うしろから見ると背中でも痒いのかと思うことも。最近の演奏会で記憶に残ったのは、シヨパンの「蚤のワルツ」、ベートーベの「アレレギー第三番」……。 (川柳マガジンより)

本コーナーが
 待望の単行本化
 好評発売中!!



「八木健の川柳アート」では、川柳を募集しています。テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には八木さんが「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントいたします。応募方法は36ページをご覧ください。